

湘南医療大学 ティーチング・ポートフォリオ

大学名 湘南医療大学

所属 専攻科

名前 澤井美奈子

教育の責任

本学の理念は「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」である。

専攻科公衆衛生看護学専攻は、本学の理念に基づき、倫理と安全を守り、変化する地域・社会の健康課題に組織的に対応する公衆衛生看護活動の実践に必要な知識・技術を身につけた高度専門職業人として地域の保健医療福祉の向上に貢献する保健師を養成することを目的として2022年度設置された。

看護系大学の教員は、学生に対し、その学問の領域において必要とされる知識・技術に加え、自立した基本的研究能力の習得を支援し、同領域における人材を輩出する役割と責任がある。

私は現在、専攻科公衆衛生看護学専攻の教員として、1年制保健師教育課程の運営を担当している。看護学科では、1年次学生を対象に、「地域」への理解を深める科目および4年次保健師課程への専門的指導を担当している。

担当科目は以下の通りである。

担当科目：

看護学科 地域・在宅看護学 1年必修

公衆衛生看護学演習Ⅰ 4年保健師課程

公衆衛生看護学演習Ⅱ 4年保健師課程

公衆衛生看護学実習Ⅰ 4年保健師課程

公衆衛生看護学実習Ⅱ 4年保健師課程

公衆衛生看護管理論 4年保健師課程

統合実習 4年必修

専攻科 ヘルス・プロモーション演習

公衆衛生看護マネジメント演習

公衆衛生看護学Ⅰ(原論・保健指導論)

公衆衛生看護学Ⅱ(管理論・統合)

公衆衛生看護学研究

公衆衛生看護学実習Ⅰ

公衆衛生看護学実習Ⅱ

公衆衛生看護活動論Ⅰ(ライフサイクル対応型)

大学院 在宅・公衆衛生学特論Ⅰ・Ⅱ・演習(本年度開講なし)

1. 私の理念・目的

1) 私の理念

・教員としての自身の特徴、大切にしていること

学生の個別性に寄り添い、潜在する強みや本当の想いを引き出すよう働きかけことを丁寧に行うようにしてきた。

学生が社会に出てから自分らしく職業生活や日常生活を送っていけるよう、将来を見通したポジティブなキャリア・ビジョンを持てること、辛い時に辛いといえる相手を見出だす力をつけること目指したサポートを行っている。

・学生への期待

社会に出てから、自分がキラキラできる(大変であっても楽しみややりがいを感じられる)職業生活や日常生活を送ってほしい。

自分の後輩たちにも同じ思いを伝えられる先輩になってほしい。

2) 理念をもつに至った背景

学生時代は体育会に所属し部活に熱中していた。社会に出てからの様々な選択において、部活動の先輩、同期、後輩のネットワークが自分の支えとなってきた。

看護分野における自分の進路選択も同様に、上司、同僚、友人の身近な立場での支援やネットワークのおかげで現在に至っている。

こうした経験から、学生たちにも今ある人的資源、将来の人的資源を大切に、自分にとっても対象にとっても善い看護職となってほしい、と考えながら教育活動を行っている。

2. 教育の方法・戦略

現在主としてかわる専攻科の学生は成人学習の対象者であることから、多様な学修の場を教材として準備し、看護の基礎知識の復習を含め、自身で調べ、まとめ、人に伝える力、チームで取り組むために必要な力の修得を目指している。

・授業の工夫:科目を統合した PBL 型演習

シミュレーション教育

・自己研鑽: JaNSSL(International Nursing Association for Clinical Simulation and Learning)指導者養成ベーシックコースを修了、指導的立場の阿部氏の指導を受けるとともに演習を見学

3. 学習成果

1) 学生からの授業評価やコメント

興味関心の高いことについて自分で調べ取り組む方法がわかり力が付いた、など。

2) 教育活動によって得られた成果について

シミュレーション教育については、他大学の保健師課程教員と共同研究を実施し、成果を論文投稿中である。

4. 改善のための努力

4年制大学の保健師課程は1～2年時に学生の特徴をある程度把握し、基盤教育にかかわったうえでの保健師教育を行うが、専攻科は様々な社会経験や教育背景を持った人に対して1年でカリキュラムを提供しなくてはならない。現状ではレディネス状態の把握ができないまま教育を開始しており、途中で様々な課題が噴出している。

改善方法として、以下が挙げられる。

1. 学校説明会への参加等により、専攻科の学習方法や準備について理解いただく。

※HPのQ&A内容の修正を行い、重要なポイントがわかる内容にする。

2. 入学前アンケートにより、基礎教育で受けた保健師教育、興味関心などのレディネス状況を把握する。

3. 面接方法を集団面接等として、コミュニケーション力を中心に多角的に能力を評価する。

4. 入学前課題を課す。

5. 今後の目標

短期目標:専攻科のカリキュラム等を3年経過時点で分析し、改善する。

学部で行って来た保健師教育の資料を整理、保管する。

専攻科保健師教育についてまとめて発表の機会を持つ(3年経過時)。